



よなごし
鳥取県米子市

コミュニティ部門

山口	島根	鳥取
	広島	岡山
愛媛	香川	徳島
	高知	

6次産業化

地産地消

**耕作放棄地
対策**

かぶしきがいしゃだいせんこむぎぷろじえくと
No. 1 株式会社大山こむぎプロジェクト

～地域にとってなくてはならない地域商社に～

2, 生産農家の顔の見える化

国内小麦の中でも先進的な取り組みをしています



小回りがきくことを逆手にとり、通常の製粉と異なり生産者指定とすることで生産者の名前の入った商品展開をおこなっている。

生産者さんの生産意欲の向上と繋がる



よりひらけた圃場にし、ワークショップ等を定期開催し、小麦の生産にかかわることでのわたしの圃場わたしの小麦となるように取り組みを進めていきたい



生産農家の見える化※生産者名の小麦粉は国内唯一

創る会(利用者)と生産者の懇談会
～食べる会～

経緯

- 2010年、パン職人の熱い思いに端を発し、酪農家が自家堆肥で肥やした圃場で小麦の生産を開始。
- 農家と食の担い手が地域に根ざして連携し「大山こむぎ」が誕生。
- 2010年にプロジェクトをスタートし、2018年に株式会社へ法人化。

取組内容

- 大山こむぎを地元中心にパン屋さんや飲食店をはじめ、学校給食用のパン用にも供給。
- 生産農家の顔(名前)の見える商品展開を行い、生産農家の生産意欲の向上。
- 生産、製粉、流通と連携する鳥取県産小麦の地域商社。

活動の効果

- 生産者が増え、現在鳥取県(中部～西部圏域)で8農家が45ha(耕作放棄地活用20ha)で生産し耕作放棄地対策に貢献。
- プロジェクトにより2017年ミナミノカオリ、銀河のちから2019年にチクゴイズミが県の産地品種銘柄に登録。
- 学校給食をはじめ大山こむぎの消費が拡大し収穫量が2012年19トンから2021年233トンに増加。